

埼玉SOUZOU文化祭2018実行委員会 実行委員長メッセージ

障害福祉制度をはじめとする各福祉施策が整備された今日、障害者支援に関わる私達は何を目指して行かなければいけないのでしょうか？もちろん「親亡き後」や「障がい者の高齢化」という問題に直面しながらも、これから障害福祉に関わる若者と障がいのある子どもや家族・当事者が「一緒に生きていく方法」を創っていくことや、市民と多様な価値観を受容する「ダイバーシティマインド」を育むことではないでしょうか？

それを考えた背景には一昨年の津久井やまゆり園事件のように、日本人の心の中に「障がいのある人の生き方の多様性」や「豊かさの変容」に対する拒否感のような感覚があるような気がしてならないからです。これからは障がいのある人、子ども達、高齢者、LGBTなど「社会的弱者」と呼ばれた方たちがマイノリティーではなく、一緒に活躍して生きていくことを試行錯誤しながら、例えば「我が事・丸ごと」地域共生社会実現のような取り組みがなされる中で、次の世代の子どもたちや若者がしっかり支えられていく・大切にされていく社会を創造していかなければならないでしょう。

本来、社会福祉はサービスを提供することではなく、「生きづらさ」を抱えた方たちの幸せを実現するクリエイティブな仕事であったはずなのに、何か大変な仕事のように語られ若い世代の人達が希望を持つことや楽しめていないこと、現場での子ども達の成長や障がいのある人の素敵さ・面白さを伝えきれていないのは私たちの世代の責任でもあり、これから何かしらの形に変えていかなければと考えています。

今回、これからの時代を担う子ども達の育ちや家族との暮らしを考えていく中で、福祉の原点である人の幸せの価値観や社会はどうあるべきか、またそれを支える若い世代の人達が福祉の世界についての理解や本当に大切な視点を一緒に学び考える機会にできればと考えています。

埼玉SOUZOU文化祭2018ではフォーラムやアール・ブリュット展、表現活動などのプログラムの中で世代や考え方をクロスオーバーしながら「私たちの未来はこうあるべき」とみなさんと一緒に議論を深めていきたいと思えます。

埼玉SOUZOU文化祭2018 実行委員会 実行委員長 下里晴朗

○開催名：埼玉SOUZOU文化祭2018 ～一彩合祭～

○開催日：平成30年12月2日（日）10:00～17:15

○会場：鴻巣市文化センター クレアこうのす

〒365-0032 埼玉県鴻巣市中央29-1

○参加費：5,000円

○懇親会参加費：5,000円

○主催：埼玉SOUZOU文化祭2018実行委員会

○共催：NPO法人エンジョイ・パートナーほっと

○協力団体：NPO法人全国地域生活支援ネットワーク

○後援：埼玉県、桶川市、鴻巣市、桶川市教育委員会、桶川市社会福祉協議会

○定員：220名

○お問い合わせ先：埼玉SOUZOU文化祭2018実行委員会 事務局

(NPO法人エンジョイ・パートナーほっと内)

TEL:048-782-7895 FAX:048-786-7829 E-mail:bunkasai@ephot.jp